

専門実践教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	35	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	35	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	35	人	受験率(③/②)	100.0	%
④ ③のうち合格者数	33	人	合格率(④/③)	94.3	%
⑤ ②(入講数)のうち就職者数 ※1	33	人			
⑥ ②(入講数)のうち在職者数 ※2	0	人	就職・在職率(⑤+⑥/②)	94.3	%

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

新規講座指定のため評価なし

① 回答者総数			人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員		人	②A: 就業者計	
	2 非正社員、派遣社員		人		
	3 その他の就業(自営業等)		人		
	4 学生		人	②B: 非就業者計	
	5 求職中		人		
	6 その他(主婦、無職等)		人		
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ		人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる		人		
	3 社内外の評価が高まる		人		
	4 円滑な転職に役立つ		人		
	5 趣味・教養に役立つ		人		
	6 その他の効果		人		
	7 特に効果はない		人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる		人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 希望の職種・業界で就職できる		人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる		人		
	4 趣味・教養に役立つ		人		
	5 その他の効果		人		
	6 特に効果はない		人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した		人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した		人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した		人		
	4 就職していない		人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足		人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足		人		
	3 どちらとも言えない		人		
	4 やや不満		人		
	5 大いに不満		人		

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法

単位履修ごとの科目試験、実技試験、実習評価等

(通信制講座の場合)

スクーリングの実施場所、時期、期間・回数

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

6. 受講効果の把握方法

(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	<科目試験> 出席率等:各科目2/3以上。授業料等納入済みであること。 認定基準:一科目について100点満点とし、60点以上を合格とする。 単位認定会議に於いて単位認定を行い進級を認定する。 <臨地実習> 基礎看護学Ⅰの合格をもって基礎看護学実習Ⅱを履修することができる。領域別看護学実習は、基礎看護学実習Ⅱおよび2学年までの専門基礎科目、専門科目全てを履修していることとする。 (学生便覧内__学則施行規則 第7条、第11条、第15条、第24条)
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	<科目試験> 出席率等:各科目2/3以上。授業料等納入済みであること。 認定基準:一科目について100点満点とし、60点以上を合格とする。 単位認定会議に於いて単位認定を行い進級を認定する。 <臨地実習> 評価:実習科目別に実習終了時に行う。 (学生便覧内__学則施行規則 第7条、第11条、第16条、第24条)
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	<科目試験> 出席率:各科目2/3以上 成績評価基準:ABCを合格とし、Dを不合格とする。 A80点以上、B70点以上80点未満、C60点以上70点未満、D60点未満 <臨地実習> 出席率:実習規程時間の2/3以上の出席 評価:ABC及びDとし、ABCを合格とする。 (学生便覧内__学則施行規則 第7条、第16条、第12条)
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	<科目試験> 科目試験は、科目履修ごとに行い、必要な場合は、中間及び臨時試験を行うことがある。また、模擬試験を実施し、習得度を確認している。 <臨地実習> 評価:実習指導に携わる者が実習評価表に基づき行う。 (学生便覧内__学則施行規則第6条)

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法

(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	成績不良者は科目担当者が面接指導を行い必要に応じて補習を行っている。3年時には保護者との面談を実施している。
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制	3年時、就職説明会実施。希望者をとりまとめ、施設との連絡調整。

8. その他の事項

指定教育訓練実施者名 及び代表者名	医療法人社団 誠馨会 (代表者名:理事長 中村 孝雄)		
住所及び連絡先	千葉県千葉市若葉区加曾利町1835-1		TEL 043-233-0665
施設名称及び施設長名	千葉中央看護専門学校 (施設長:学校長 藤澤 里子)		
住所及び連絡先	千葉県千葉市中央区南町1-8-1		TEL 043-268-1861
苦情受付者	氏名 小野 尚子 所属 事務部	事務担当者	氏名 小野 尚子 所属 事務部
連絡先	TEL 043-268-1861		連絡先 TEL 043-268-1861

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

専門実践教育訓練経費 支払い方法 ① 一括払 (年次ごと)	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (①+②)	1,540,000 円
	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。)	100,000 円
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。)	1,440,000 円 (第1期 245,000 円) (第2期 245,000 円) (第3期 245,000 円) (第4期 235,000 円) (第5期 235,000 円) (第6期 235,000 円) (うち、必須教材費 270,000 円)
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (①+②+③+④)	420,000 円
	① 任意の教材費(税込額)	60,000 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	0 円
	③ 施設維持費(税込額)	120,000 円
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	240,000 円
	3. 総額 (1+2) (税込額)	1,960,000 円

教育課程 <科目・単位数・履修年次>

分野	科目名	単位	時間	履修年次・単位・規定時間							
				1年		2年		3年			
				単位	時間	単位	時間	単位	時間		
基礎分野	科学的 的思考 の 基盤	人間生物学	1	15	1	15					
		看護情報学Ⅰ	1	30	1	30					
		看護情報学Ⅱ	1	30			1	30			
		論理的思考	1	30	1	30					
	人間と生活、 社会の 理解	教育学	1	30	1	30					
		人間発達学	1	30	1	30					
		心理学	1	30	1	30					
		人間関係論	1	30	1	30					
		倫理学	1	15	1	15					
		社会学	1	30	1	30					
		死生学	1	30	1	30					
		外国語 (選択科目)	英語 中国語	1	30			1	30		
		創造と表現 (選択科目)	レクリエーション ホリスティックアプローチ 美術 音楽	1	30			1	30		
		小計		13	360	10	270	3	90	0	0
専門基礎分野	人体の 構造と 機能の 促進 の 疾 病 の 成 り 立 ち と 回 復	生命のしくみⅠ	1	30	1	30					
		生命のしくみⅡ	1	30	1	30					
		生命のしくみⅢ	1	30	1	30					
		生命のしくみⅣ	1	30	1	30					
		栄養学(含む生化学)	1	30	1	30					
		微生物学	1	30	1	30					
		病理学	1	30	1	30					
		薬理学Ⅰ	1	15	1	15					
		薬理学Ⅱ	1	30	1	30					
		病態学Ⅰ	1	30	1	30					
		病態学Ⅱ	1	30	1	30					
		病態学Ⅲ	1	30	1	30					
		病態学Ⅳ	1	30			1	30			
		病態治療論	2	45			2	45			
	東洋治療論	1	15			1	15				
	健康 支 援 と 社 会 保 障 制 度	総合医療論	2	30	2	30					
		社会保障論	1	15			1	15			
		社会福祉	1	30			1	30			
		関係法規	1	15			1	15			
		公衆衛生学	1	30			1	30			
	小計		22	555	14	375	8	180	0	0	
	専門分野Ⅰ	基礎 看護 学	看護学概論	2	30	2	30				
フィジカルアセスメント			1	30	1	30					
コミュニケーション技術			1	15	1	15					
安全を守る技術			1	15	1	15					
日常生活援助技術Ⅰ			1	30	1	30					
日常生活援助技術Ⅱ			1	30	1	30					
診療に伴う基礎技術			1	30			1	30			
回復促進援助技術			1	30			1	30			
症状緩和技術			1	30	1	30					
看護過程展開の技術			1	30			1	30			
指導技術			1	15	1	15					
看護研究			1	30					1	30	
基礎看護学実習Ⅰ			2	90	2	90					
基礎看護学実習Ⅱ			1	45			1	45			
小計			16	450	11	285	4	135	1	30	

教育課程 <科目・単位数・履修年次>

分野	科目名	単位	時間	履修年次・単位・規定時間						
				1年		2年		3年		
				単位	時間	単位	時間	単位	時間	
分野	科目名	単位	時間	履修年次・単位・規定時間						
				1年		2年		3年		
				単位	時間	単位	時間	単位	時間	
専門分野Ⅱ	母性看護学	母性看護学概論	2	30	2	30				
		周産期看護の基盤となる援助	1	30	1	30				
		状態に応じた周産期の看護	1	30			1	30		
		母性看護学実習	2	90			2単位 90時間			
	小児看護学	小児看護学概論	2	30	2	30				
		状況に応じた子どもの援助	1	30			1	30		
		機能障害をもつ子どもの看護	1	30			1	30		
		小児看護学実習	2	90			2単位 90時間			
	成人看護学	成人看護学概論	2	30	2	30				
		急性・重症看護	1	30			1	30		
		リハビリテーション看護	1	30			1	30		
		慢性疾患看護	1	30			1	30		
		がん看護	1	30			1	30		
		成人看護学実習Ⅰ	2	90			2単位 90時間			
		成人看護学実習Ⅱ	2	90			2単位 90時間			
		成人看護学実習Ⅲ	2	90			2単位 90時間			
	老年看護学	老年看護学概論	2	30	2	30				
		高齢者の生活支援	2	45			2	45		
		機能障害をもつ高齢者の看護	1	30			1	30		
		老年看護学実習Ⅰ	2	90			2単位 90時間			
		老年看護学実習Ⅱ	2	90					2	90
	精神看護学	精神看護学概論	2	30	2	30				
		精神看護の基盤となる援助	1	30			1	30		
		状態に応じた精神障がい者の看護	1	30			1	30		
精神看護学実習		2	90			2	90			
小計		39	1245	11	180	18	615	10	450	
統合分野	在宅看護論	在宅看護論概論	2	30			2	30		
		コミュニティケア	1	30			1	30		
		状態に応じた療養者の看護	1	30					1	30
		在宅看護論実習	2	90					2	90
	看護の統合と実践	看護管理	1	15					1	15
		看護倫理	1	15					1	15
		医療安全	1	30					1	30
		国際・災害看護	1	30					1	30
		臨床看護技術	1	30					1	30
		統合実習	2	90					2	90
小計		13	390	0	0	3	60	10	330	
総計		103	3000	46	1110	36	1080	21	810	